

高齢歩行者の交通事故実態

～高齢歩行者の交通死亡事故を防止するために～



令和 6 年 8 月 2 4 日
北海道警察本部交通企画課

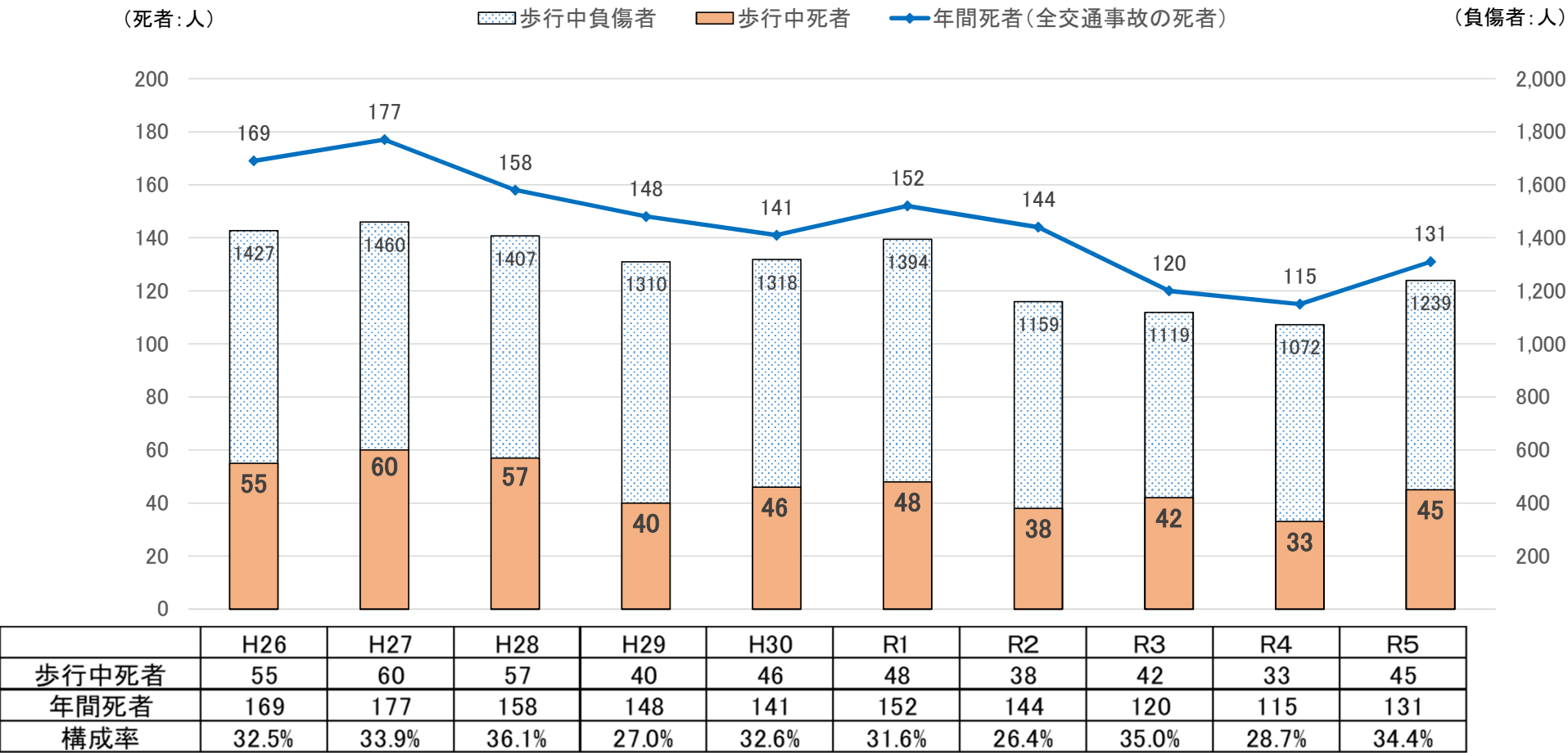
〈 目 次 〉

- 1 歩行者（全年齢）の交通事故死傷者年別推移
- 2 年齢層別歩行者の死傷者（過去5年累計）
- 3 高齢歩行者の年別死傷者推移
- 4 高齢歩行者の発生月別死傷者（過去5年累計）
- 5 高齢歩行者の曜日別死傷者（過去5年累計）
- 6 高齢歩行者の時間別死傷者（過去5年累計）
- 7 高齢歩行者の事故類型別死傷者（過去5年累計）
- 8 高齢歩行者の法令違反別死者（過去5年累計）
- 9 横断歩道のない単路横断中の横断方向別高齢歩行中死者（過去5年累計）
- 10 交通事故遭遇時の年齢層別死亡・重傷・軽傷率（歩行者：過去5年累計）
- 11 高齢歩行者の通行目的別死傷者（過去5年累計）
- 12 買物目的の高齢歩行者の発生時間別死傷者（過去5年累計）

※「高齢歩行者」とは、65歳以上の者をいう。

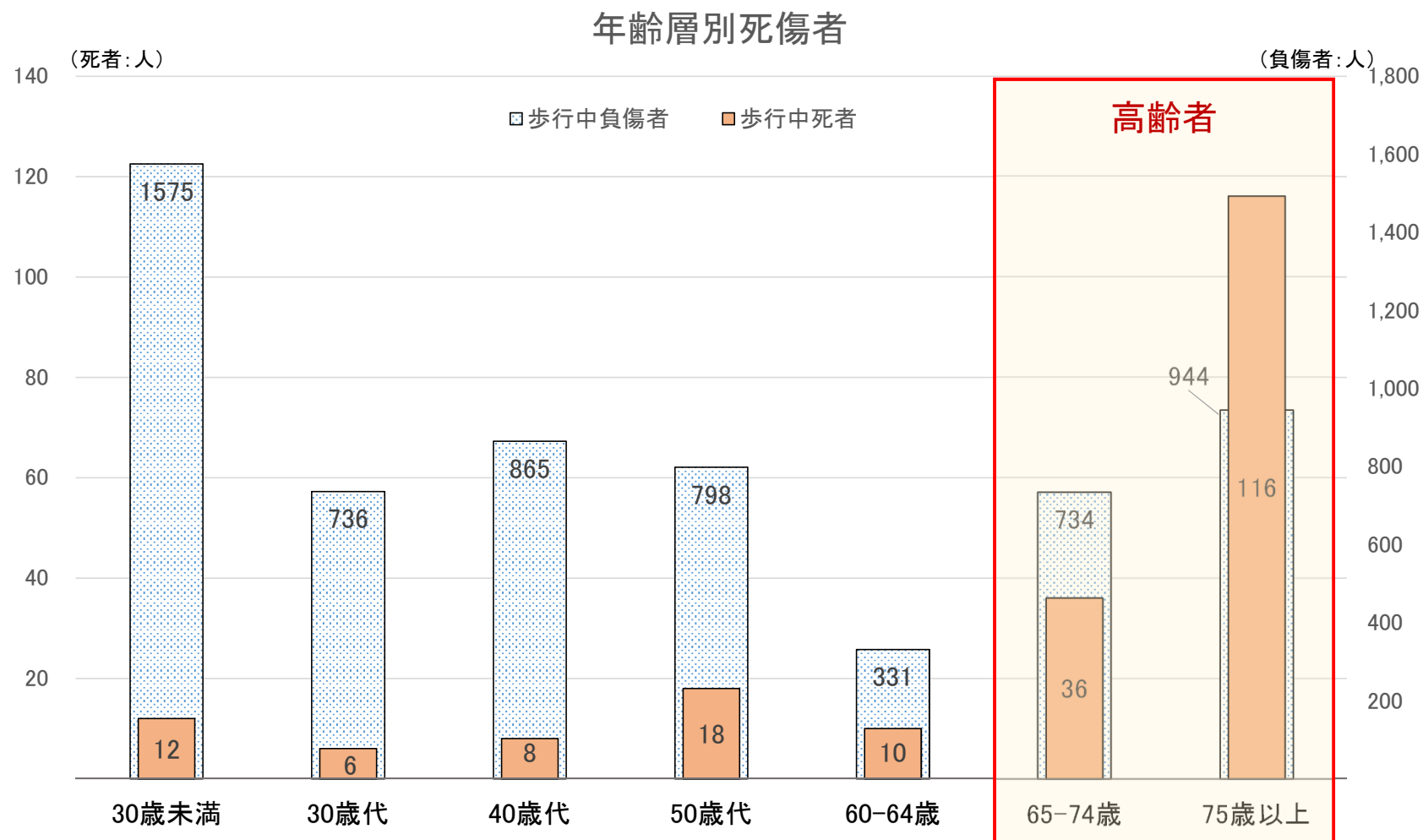
1 歩行者(全年齢)の交通事故死傷者年別推移

歩行者死傷者(全年齢)の年別推移



交通事故による年間死者は減少傾向で推移しているが、年間死者に占める歩行者構成率は概ね横ばいで推移している。

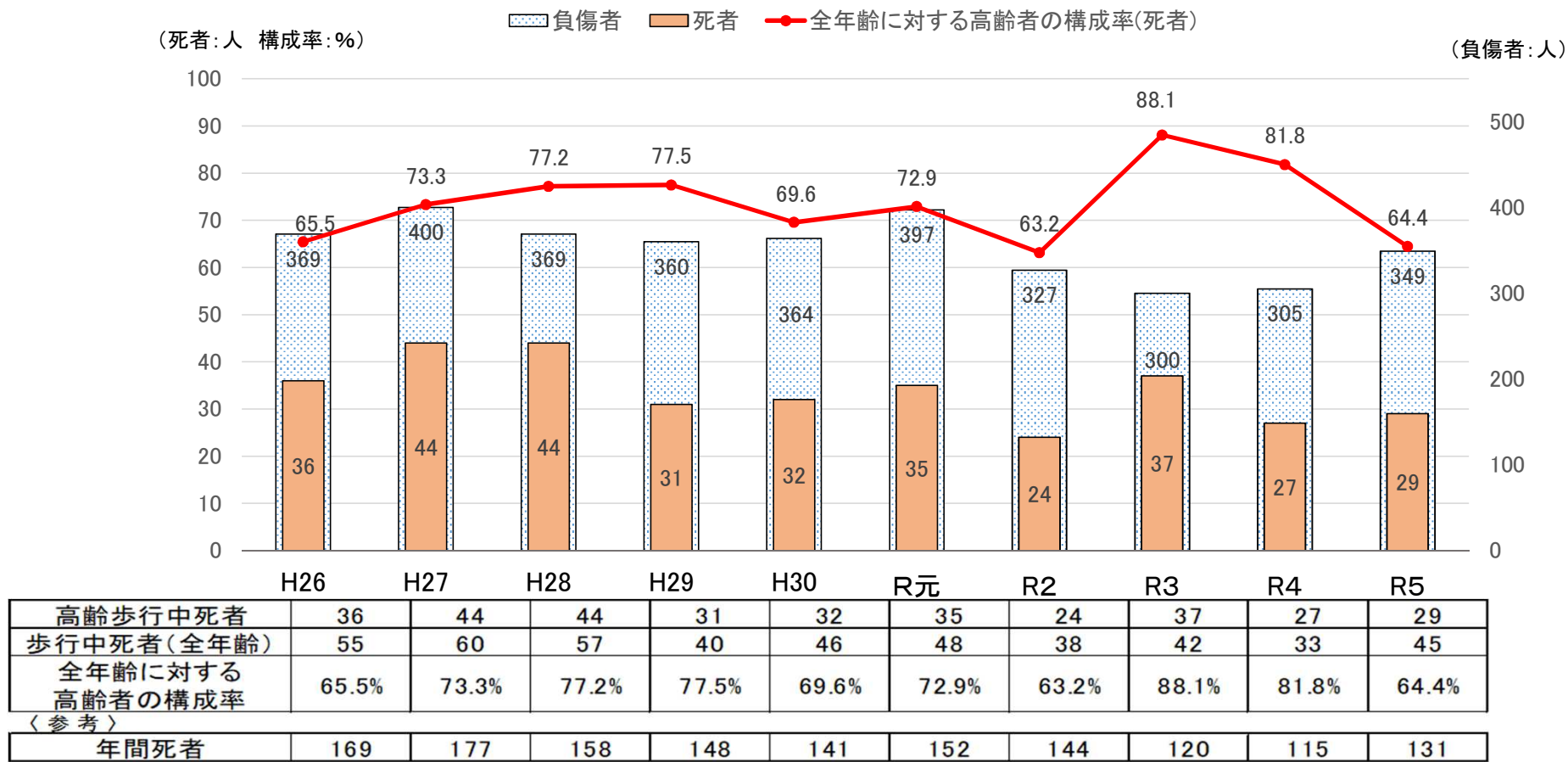
2 年齢層別歩行者の死傷者(過去5年累計)



負傷者は30歳未満の若年歩行者が突出して多いが、死者は高齢者が突出して多く、高齢者のうち、75歳以上の後期高齢者の死者が特に多い。

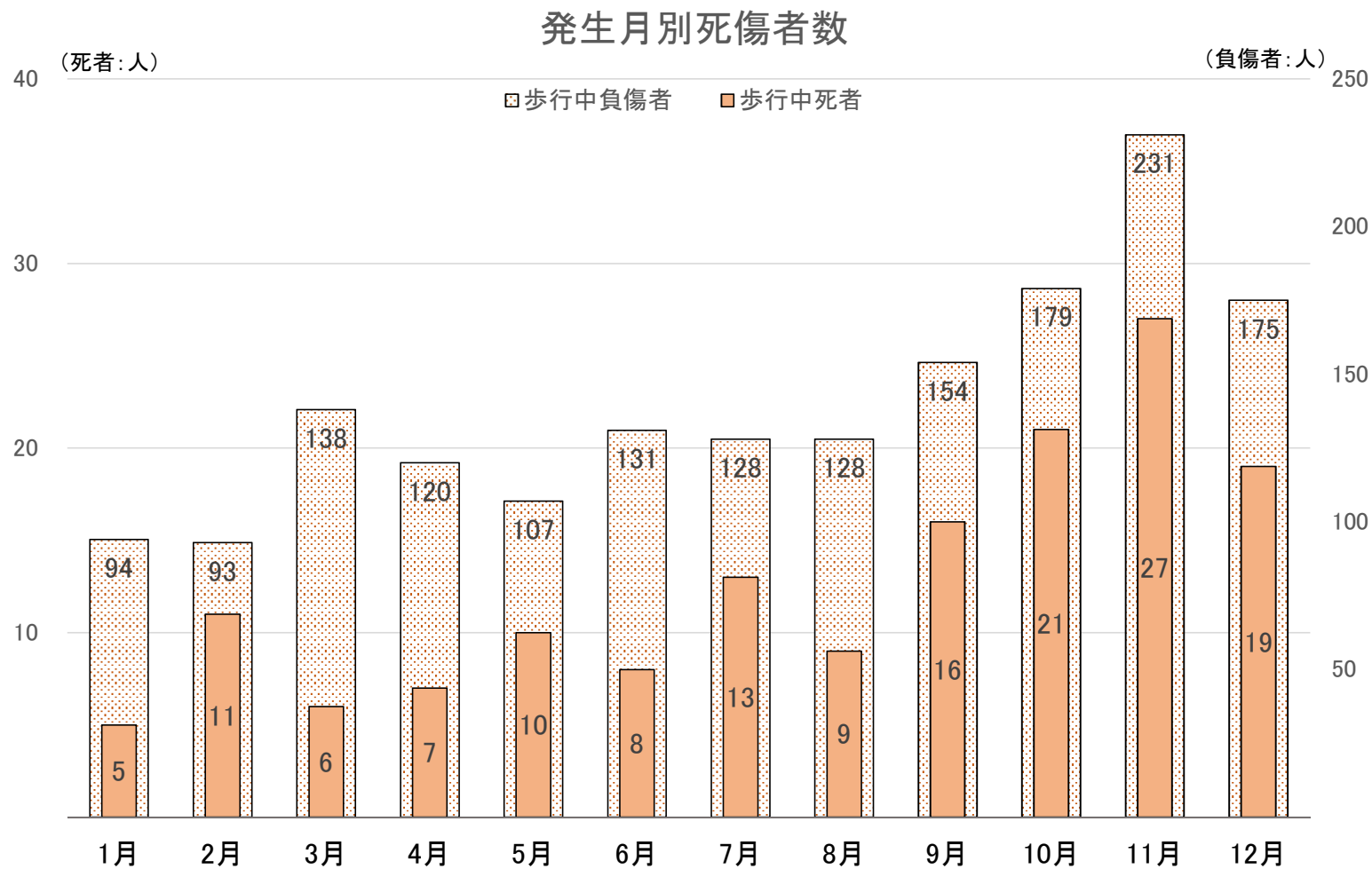
3 高齢歩行者の年別死傷者推移

高齢歩行者の年別死傷者構成率推移



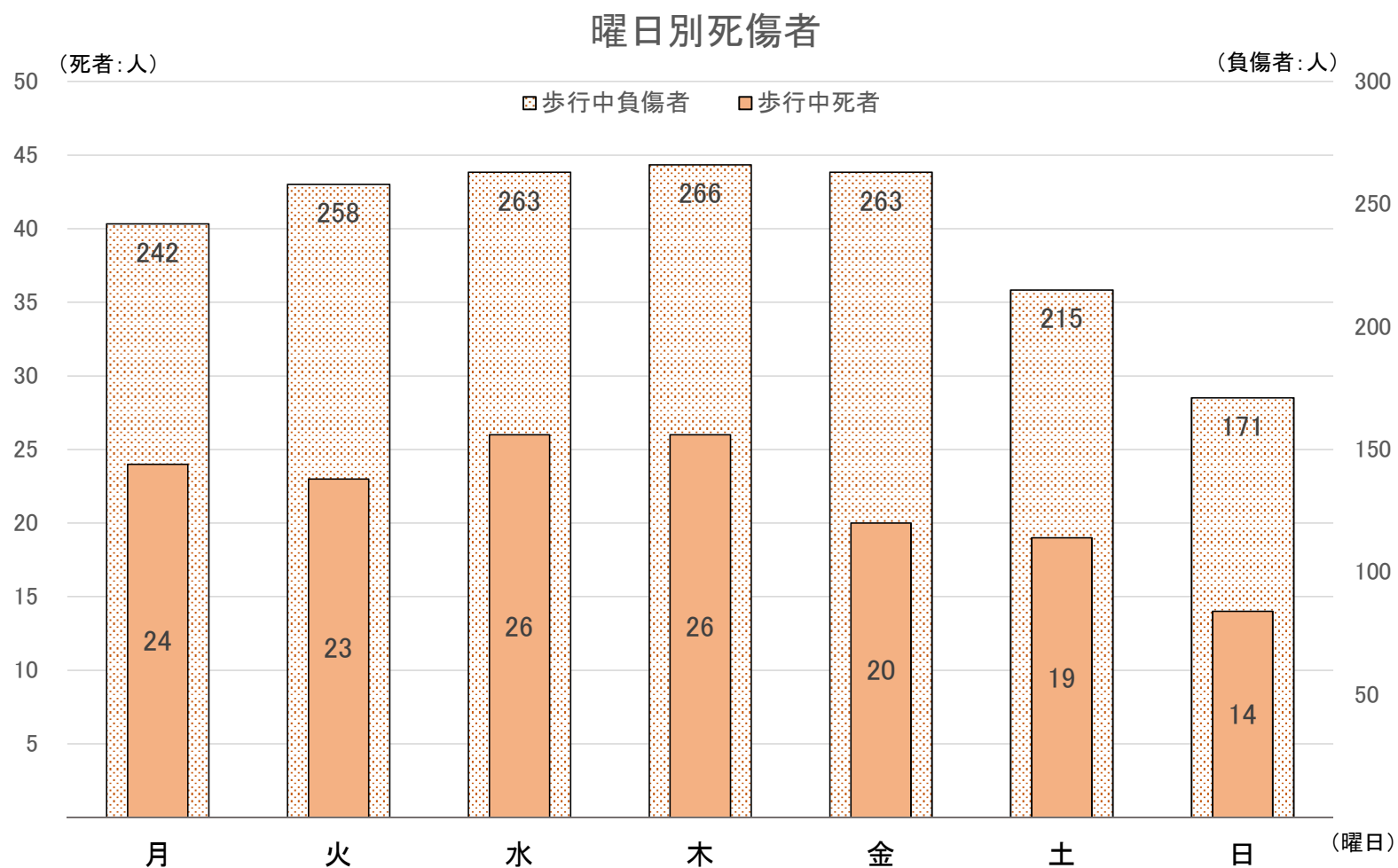
高齢歩行中死者は増減を繰り返しながら、減少傾向で推移している。
一方、歩行中死者(全年齢)に対する高齢歩行中死者の構成率を見ると、各年6割以上の高水準で推移している。

4 高齢歩行者の発生月別死傷者(過去5年累計)



発生月別で見ると、高齢歩行者の負傷者及び死傷者は9月以降増加し、11月がピークとなる。

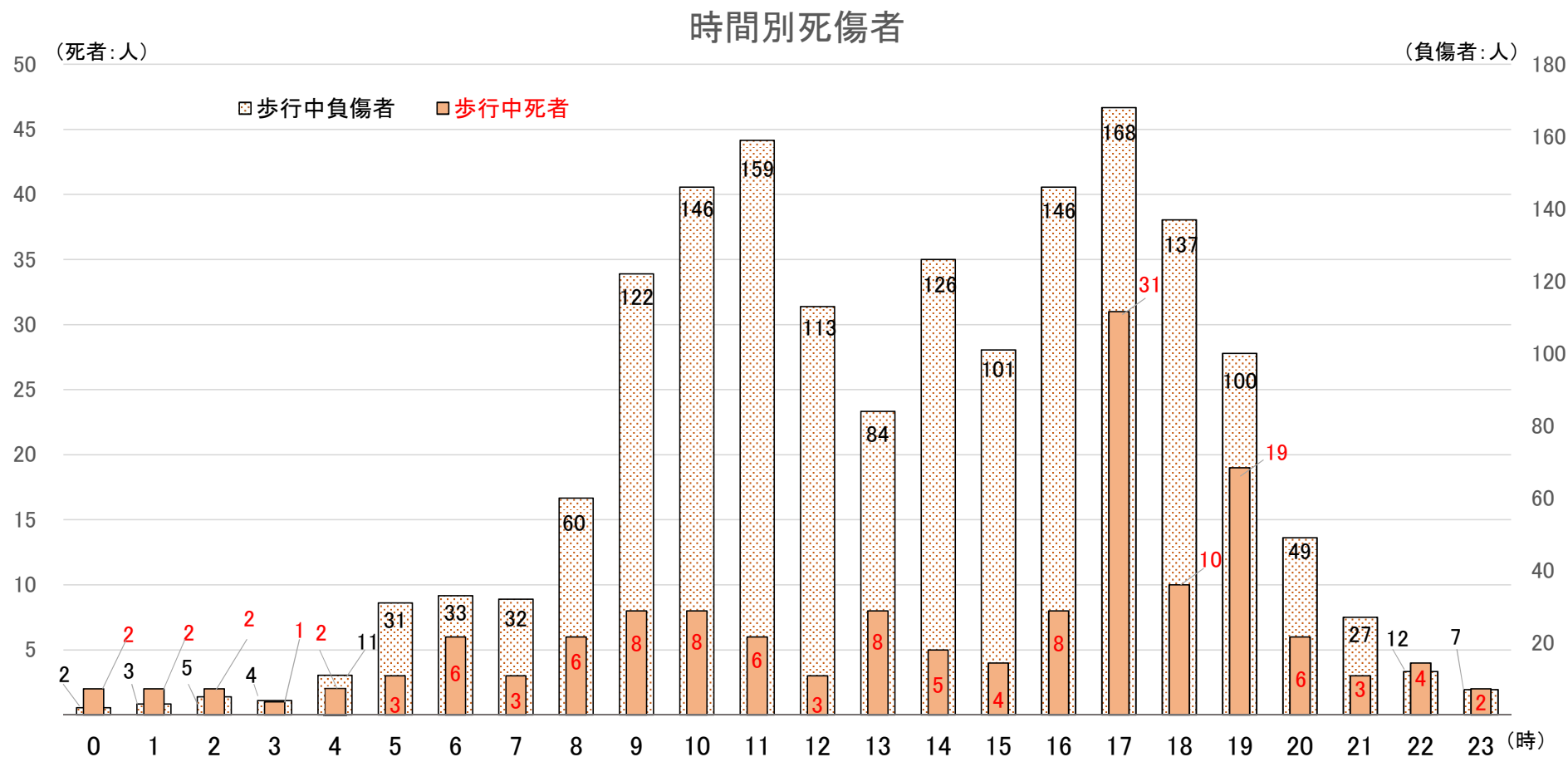
5 高齢歩行者の曜日別死傷者(過去5年累計)



死者数は、水曜日、木曜日が最も多い。

負傷者数は、木曜日が最も多く、次いで水曜日、金曜日が多い。

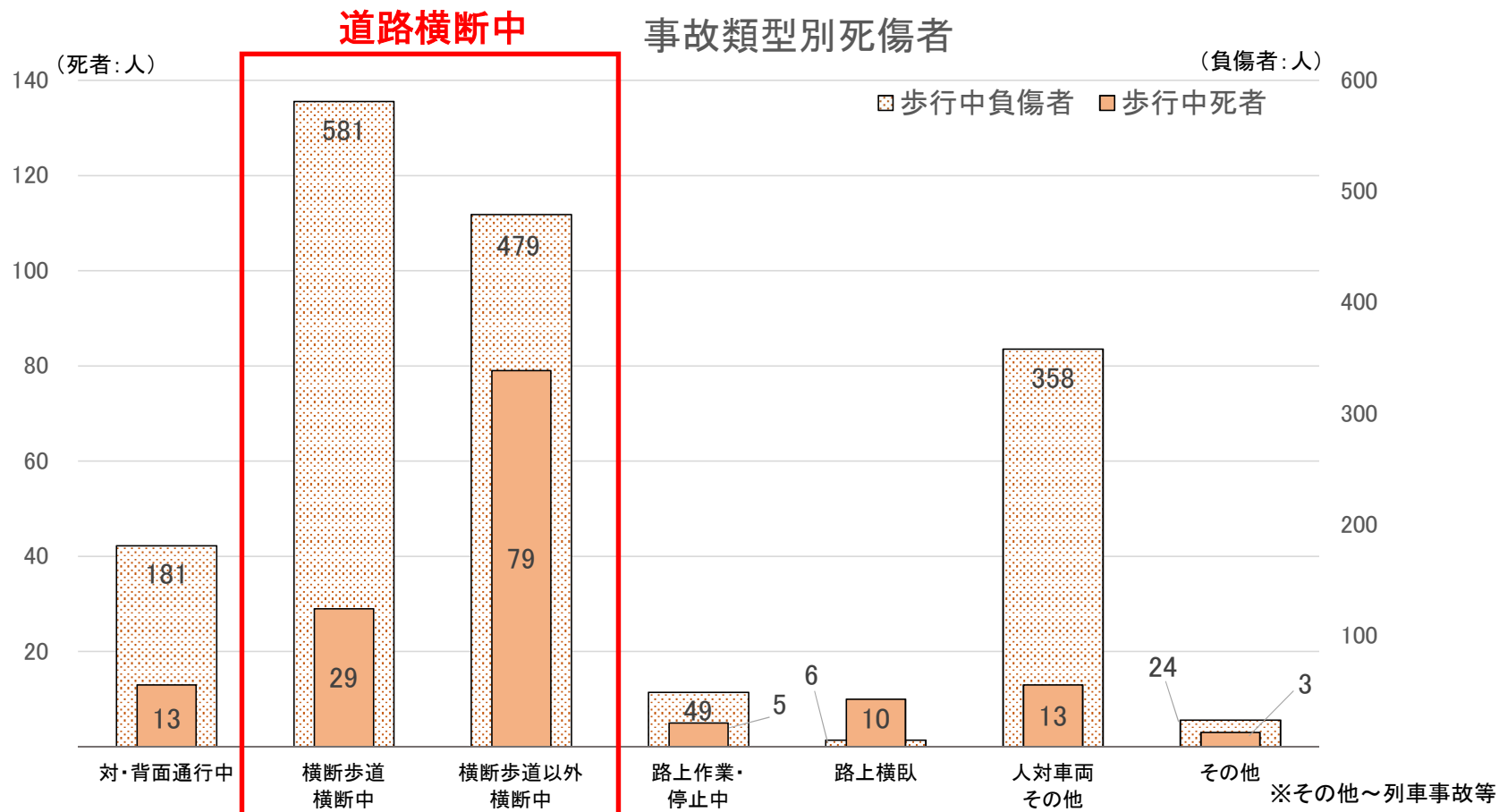
6 高齢歩行者の時間別死傷者(過去5年累計)



高齢歩行者の死者数は、17時台が最も多く、次いで19時台が多い。

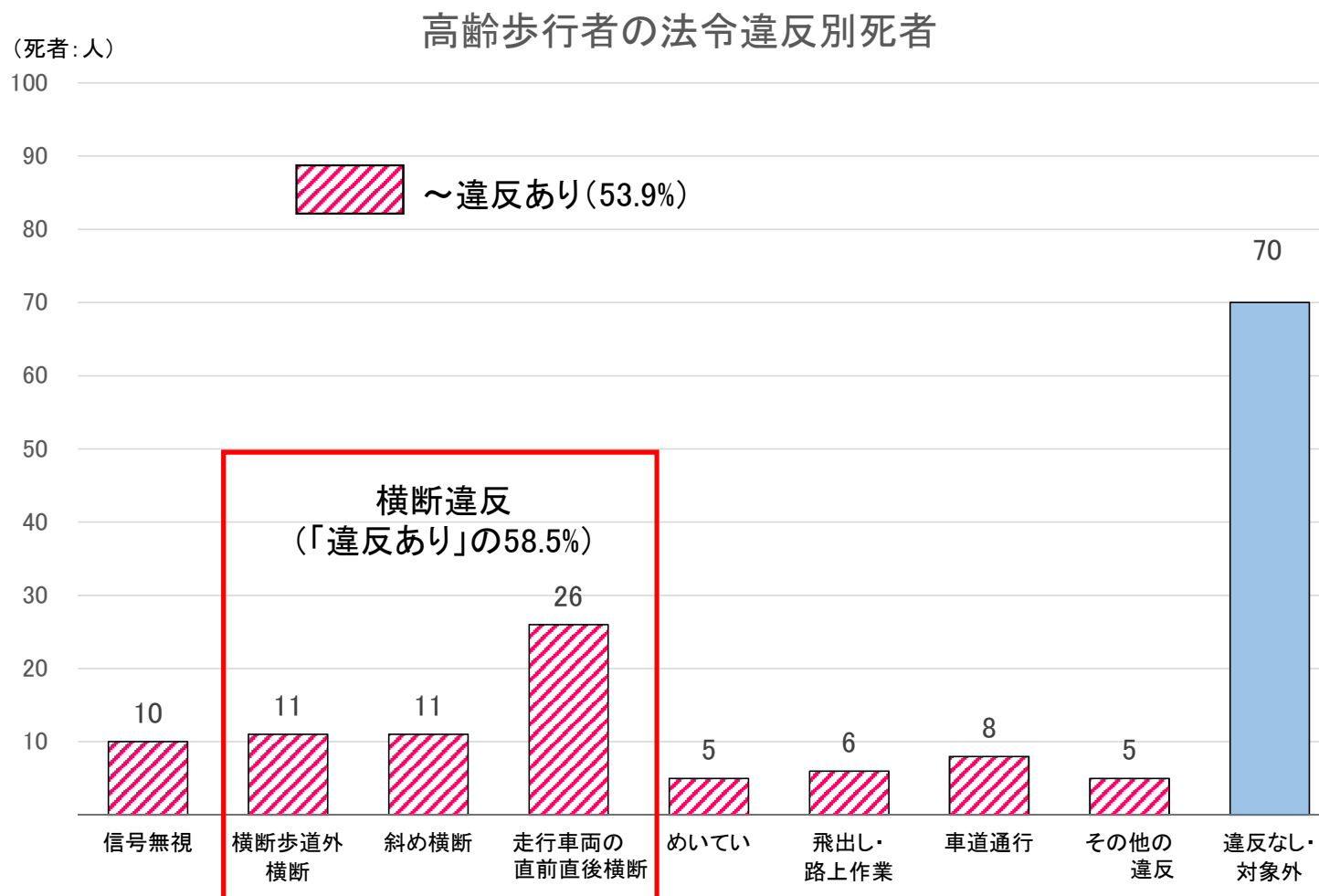
高齢歩行者の負傷数は、9時台から11時台にかけて増加し、その後一旦減少するが、16時台から17時台にかけて再び増加し、その後減少していく。

7 高齢歩行者の事故類型別死傷者(過去5年累計)



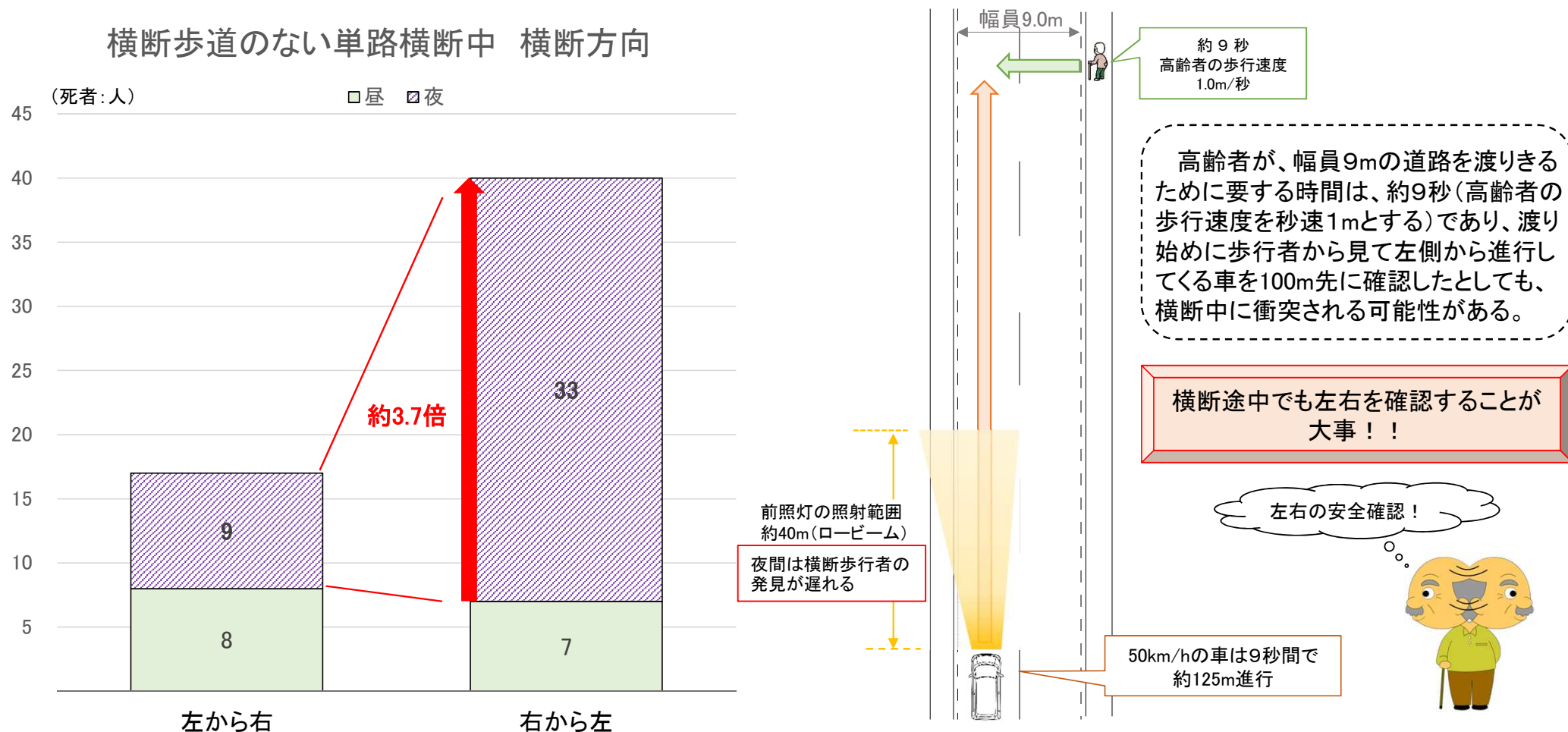
死者数は、「横断歩道以外横断中」が79人と突出して多く、死者全体の5割以上を占める。
 負傷者は、「横断歩道横断中」が581人と最も多く、次いで「横断歩道以外横断中」が479人が多い。
 また、道路横断中に交通事故に遭う者は、全体の6割以上を占める。

8 高齢歩行者の法令違反別死者(過去5年累計)



高齢歩行者の死者の5割以上に法令違反が認められる。
法令違反のうち、約6割が横断違反(道路横断時の違反)である。

9 横断歩道のない単路横断中の横断方向別高齢歩行中死者(過去5年累計)



横断歩道のない単路横断中の高齢歩行中死者のうち、車両の運転者から見て「右から左に横断中」が7割以上を占め、特に夜間は「右から左に横断中」が顕著で「左から右に横断中」の3.7倍となる。

※ 「単路横断中」は、道路を横断する歩行者が保護されるべき場所である、「交差点及び横断歩道を横断中」以外をいい、単路(カーブ含む)及び交差点付近(交差点から概ね30m以内の範囲を含む場所)を横断中のもの。

なぜ高齢者の死者が多いのか。

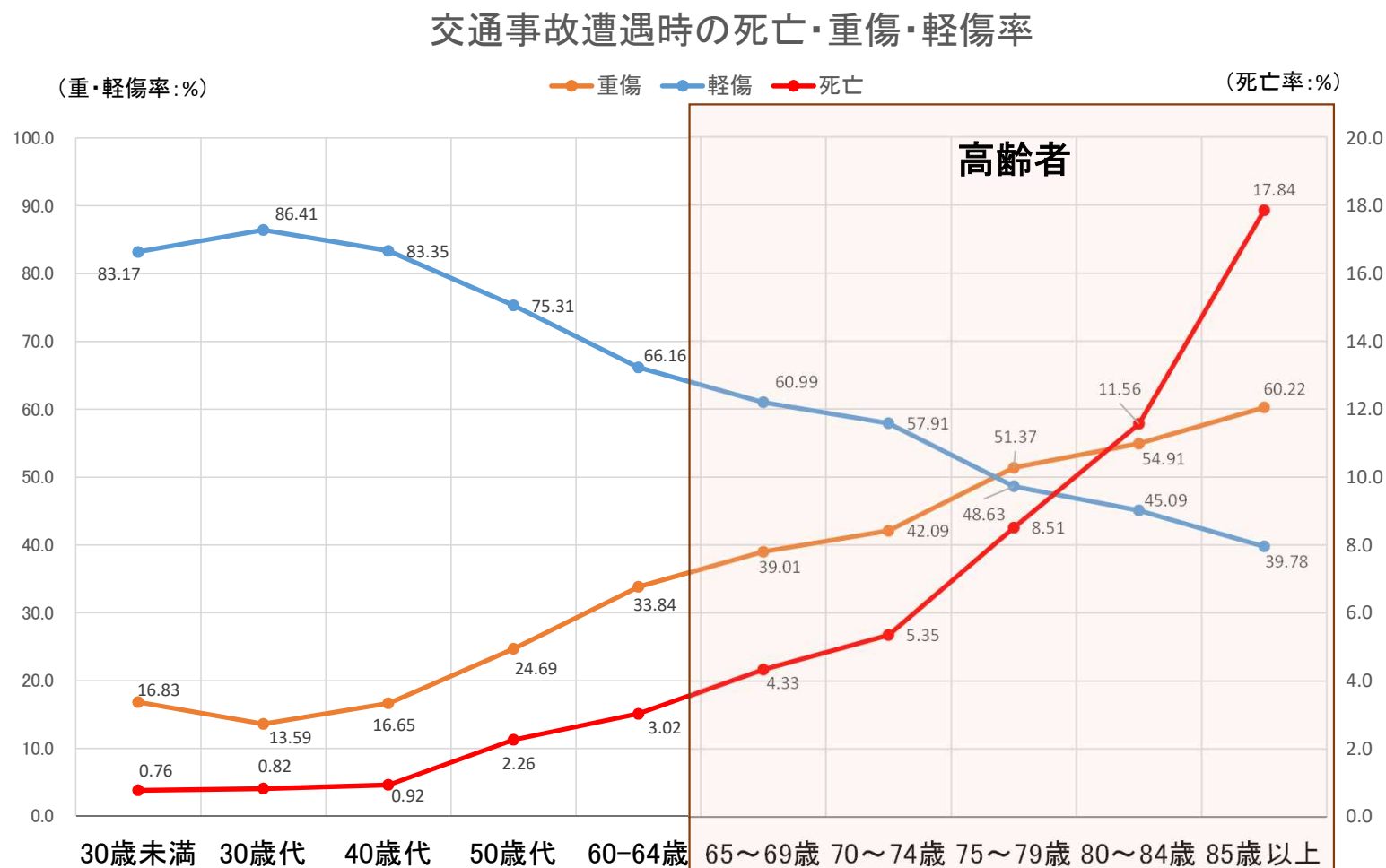
加齢に伴い、身体機能や認知機能などが低下する。

危険を察知し瞬時に行動することができにくくなる。

- 身体機能の低下に伴う歩行速度の低下
- 周囲の状況に対する、認識・判断能力の低下（認知機能の低下）
- 交通事故の危険を認識しても、咄嗟に退避行動を取ることができない
- 治癒能力の低下（死に至るリスクが高い）

など・・・

10 交通事故遭遇時の年齢層別死亡・重傷・軽傷率(歩行者:過去5年累計)



「死亡・重傷・軽傷率」とは、各年齢層における、死者数・重傷者数・軽傷者数を死傷者数で除したもの(%)。
 年齢が上がるにつれ、軽傷率が減少し、**死亡率**・重傷率が上昇する。
 (事故に遭うと死亡する確率が高くなる。)

年齢が上がるにつれて、死亡率・重傷率が上昇する。

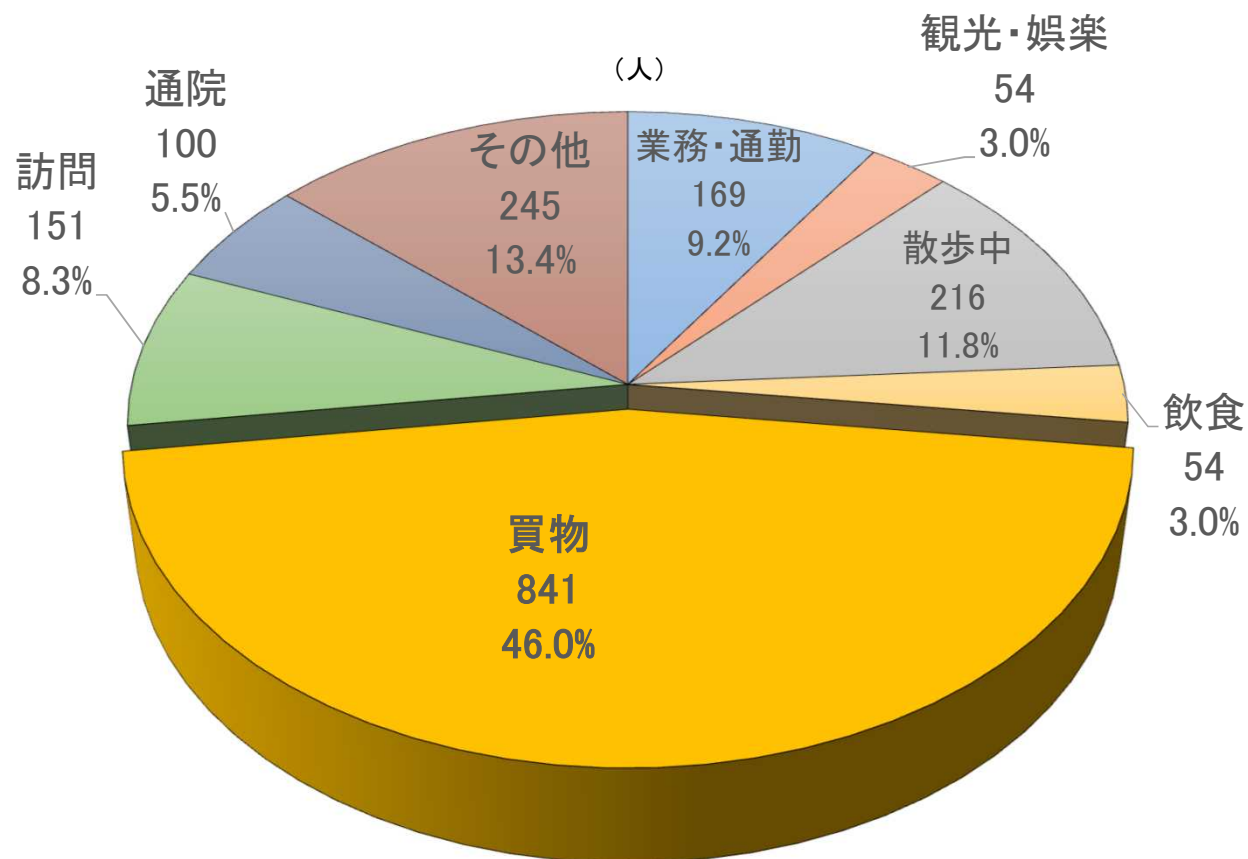
高齢者が交通事故に遭遇した場合、

死亡するリスクが高い

と言える。

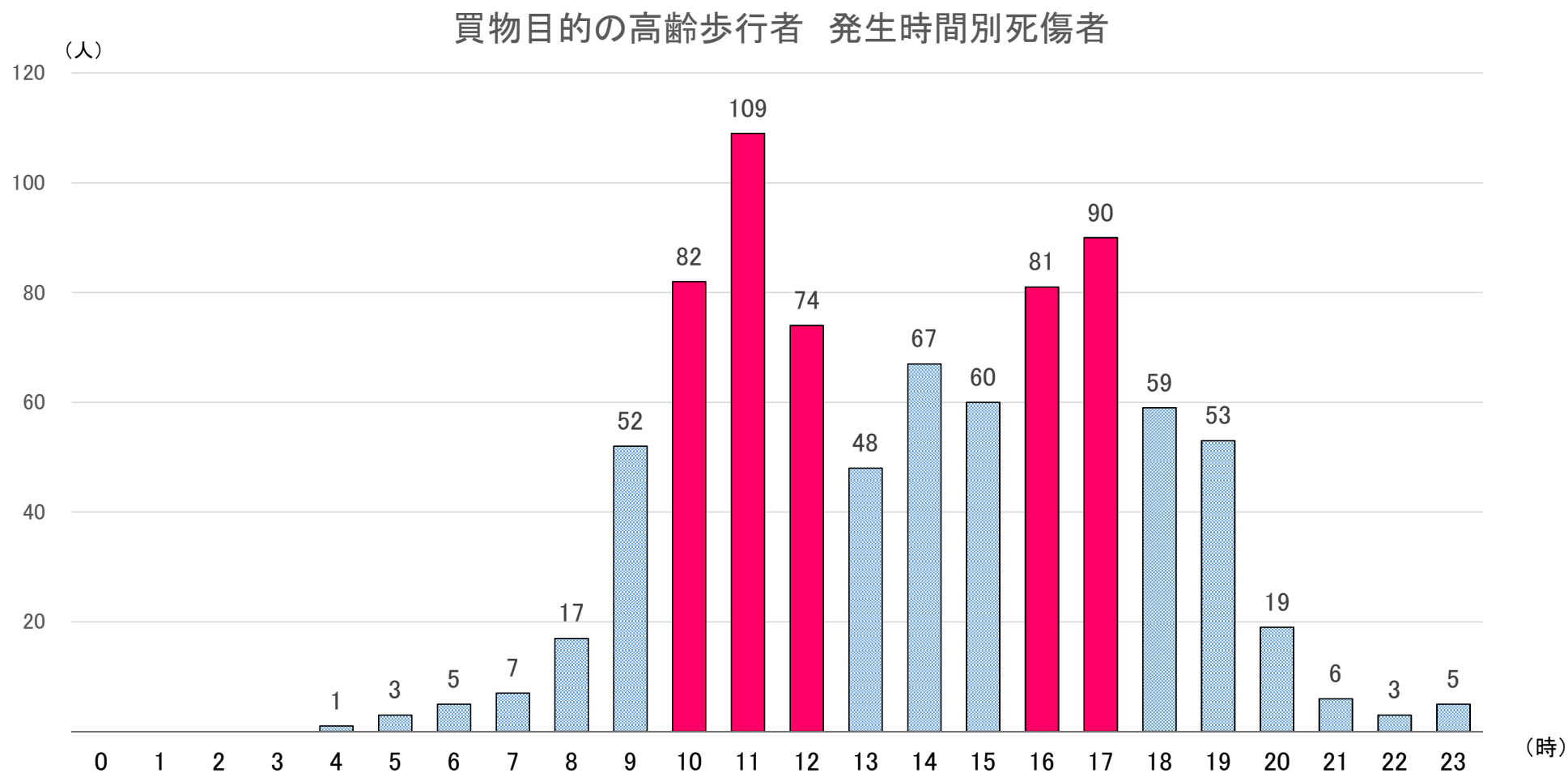
より、交通事故に遭わないよう注意しなければならない。

11 高齢歩行者の通行目的別死傷者(過去5年累計)



買物(買物帰り含む。)が約5割を占めている。

12 買物目的の高齢歩行者の発生時間別死傷者(過去5年累計)



買物目的の高齢歩行中死傷者は、10時から12時及び16時から17時の間に多く発生している。

高齢歩行者が交通事故に遭わないために・・・

高齢者は買物の際に交通事故に遭うことが多い。

行動者率の高い午前(10時前～12時ころまでの間)と、行動者率が高く、日没時間帯と重なる午後(16時～17時ころまでの間)～夜間が要注意時間帯

ドライバーの皆さんは、スピードダウンと安全確認を徹底し、夜間是对向車や先行車がない場合は、ハイビームを活用しましょう。

高齢歩行者の皆さんは、横断歩道を利用するなど、正しく、安全な横断方法を取り、夕暮れ・夜間は反射材を着用しましょう。



反射材を着けましょう！

参 考

高齢者の特徴（見え方、聞こえ方の変化）

◎ 目の見え方が変わる

視力が低下し、黄色・褐色がかった色彩に見える

若年者の見え方



高齢者（80歳）の見え方



◎ 耳の聞こえ方が変わる

音がこもって聞こえるため車が近づいても察知しにくい

参 考

交通事故防止映像紹介



～ 光と闇の危険！！ ～

北海道警察ホームページ、YouTube北海道警察公式チャンネルに掲載しています！

北海道警察ホームページ



YouTube



北海道警察公式チャンネル